



# インドネシア工場での 危険予知活動導入の秘訣

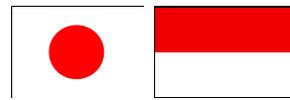


インドネシア進出サポート  
小野耕司





# 自己紹介



- 1975/4～1981/6 ヤマハ(株)入社 インドネシア工場立上支援分野配属
- 1981/6～1987/3 インドネシア工場生産課長 電子鍵盤楽器の組立生産
- 1987/3～1995/7 インドネシア工場長 電子楽器、ピアノ、ギターの輸出拠点化
- 1995/7～2005/3 帰国、インドネシアを普及品の生産拠点化するプロジェクト
- 2005/3～現在 ヤマハ退職、インドネシア進出サポートコンサルタントとして独立  
インドネシア語翻訳・通訳

静岡大学客員教授、専修大学客員講師

独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)専門家

独立行政法人 中小企業基盤整備機構アドバイザー

一般社団法人海外事業支援センター(OBAC)アドバイザー

一般財団法人海外産業人材育成協会(AOTS)講師

一般社団法人日本インドネシアビジネス協会(ABJI)理事

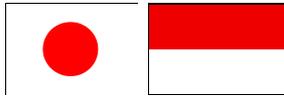
などを経歴し、これまでのインドネシア進出支援企業数は約100社



インドネシアとの  
関わりも50  
年になりました  
た



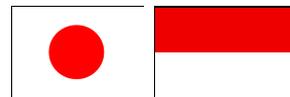
# セミナー要旨



- インドネシア工場における人材教育の方法として、小集団活動の導入はとても重要なことであると思います。
- 私も工場の責任者として現地駐在時代は、改善提案制度、QCサークル、そして危険予知活動を導入しました。
- それらの中でも、危険予知活動の導入にはとても手こずりました。
- 日本での経験を基に導入を試みたのですが、国民性として楽観的で、唯一絶対の神に全てを任せて生きている人達との違いを実感させられることがたくさんありました。
- このセミナーでは、そのようなインドネシアにおいて、危険予知活動を導入する際のコツやヒントを紹介します。



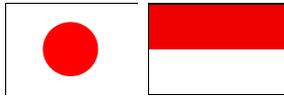
# 目次



1. インドネシア人の危険に対する意識
2. 危険予知活動の実施要領
3. 活動報告書の雛形見本
4. 被災した場合の身体的な苦痛
5. 被災した場合の精神的な苦痛
6. 被災後の経済的損失
7. 被災による職場での影響
8. 加害者の場合の法的罰則



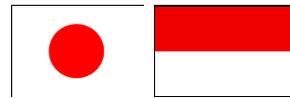
# 1. インドネシア人の危険に対する意識



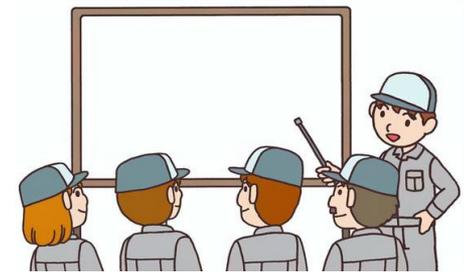
No.	対象	危険に対する感覚と習性	安全対策有効化のための施策
1	高所作業	自分は身軽で機敏であるから、命綱とか安全柵は不要で邪魔である	命綱の使用を怠った場合は警告書を出し、三回に及んだところで解雇する(就業規則)
2	切削機械	安全カバーは作業の邪魔になるので外してしまう	安全カバーが付いていることを朝礼の後に全員で確認する
3	プレス機械	作業に慣れて来たので逐次安全確認は必要ない	二重三重の安全確認がなければ駆動しない装置にする
4	回転機械	イスラムの教えに従い女性が髪の毛を布で覆うのは当然である	布の裾が機械に巻き込まれないように顎の下で結ぶ
5	高熱作業	靴の中に溶けた鉄が入ると火傷するので裸足でいる方が安全	異物が混入しない作業靴を履かせる
6	重量物	自分の足に落ちることはないだろう	安全靴を履かせる
7	有害物	容器に入っていれば大丈夫だろう	限定した保管場所以外には絶対に置かせない
8	粉塵	マスクをしていれば大丈夫だろう	粉塵が作業場に飛び散らない装置を付ける
9	爆発物	火の気が無ければ大丈夫だろう	防爆室以外には絶対に置かせない
10	車両運転	自分が安全運転をしていれば事故は起きないだろう	周囲の車両や人間の動きにも注意を払う



## 2. 危険予知活動の実施要領

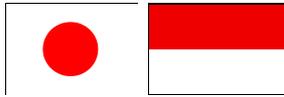


1. 頻度：月1回程度で、定期的な開催日時を予め決めておく。
2. 時間：就業時間内で、1回当り30分以内とする。
3. 参加者：同一職場内の従業員で、7名前後を活動チームとして登録する。
4. 場所：職場内の空きスペースに立ったまま行う。
5. 備品：危険な状況を描くためのスタンド付きホワイトボード。
6. 進行：進行役は職場のリーダーが担当する。
7. 事例：危険な場面に遭遇した経験を、毎回一人から告白してもらう。
8. 記録：持ち回りで活動報告書の記入担当者を指名する。
9. 報告：活動報告書を人事・労務の担当者に提出する。
10. 公開：会社内の共有スペースに各チームからの報告書を掲示する。

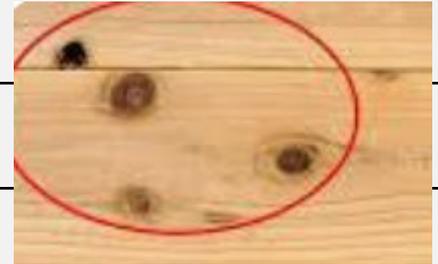




### 3. 活動報告書の雛形見本

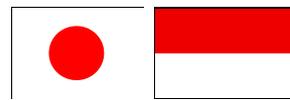


職場名	機械加工班	
活動日時	2025年1月15日(水)8:00-8:30	
危険体験	ボール盤で木材に穴を開ける際に、木片が顔に飛んで来て当り、額に軽い怪我をした。	
直接原因	穴明位置に木材の節があることに気が付かなかった。	
深層原因	前の夜は寝不足で、その日は注意力が低下していた。	
被災した場合	身体的苦痛	額を3針縫うことになった。
	精神的苦痛	ボール盤を扱う時に恐怖心が湧いてくる。
	経済的損失	治療費は社会保険でカバー出来た。
	職場の影響	ボール盤の作業が1日遅れたため、その後の全ての作業が1日遅れとなった。
	加害者の罰則	特に無し。
再発防止対策	ボール盤作業の前は、加工材料に異変がないことを声を出して確認する。	

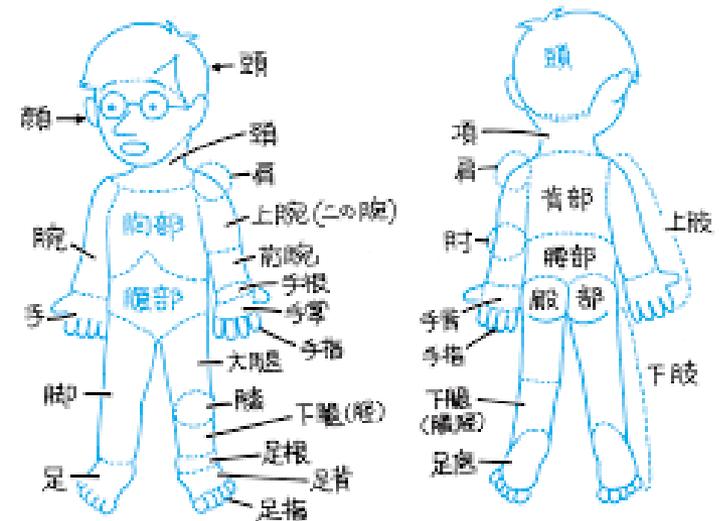




# 4. 被災した場合の身体的な苦痛

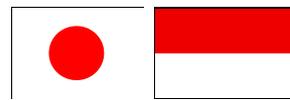


1. 被災した体の部位: 頭部、頸部、背部、腹部、上肢、下肢、その他
2. 傷の種類: 擦り傷、切り傷、火傷、打撲、骨折、脱臼、その他
3. 意識障害: 失神、意識不明、その他
4. 治療の内容: 薬品塗布、止血、縫合、鎮痛剤投与、手術、その他
5. 治療期間: 通院日数、入院日数、自宅静養日数

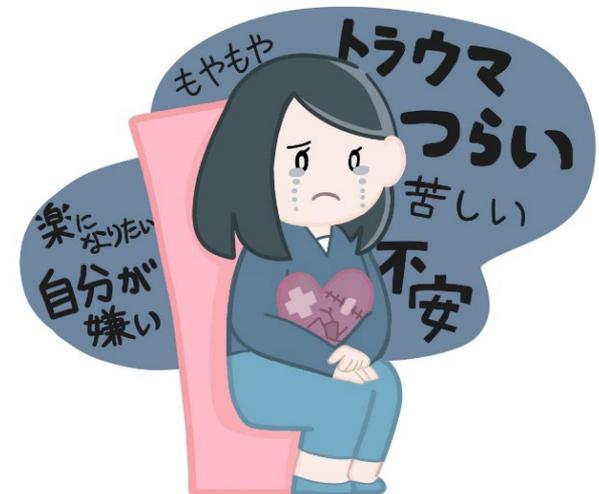




## 5. 被災した場合の精神的な苦痛

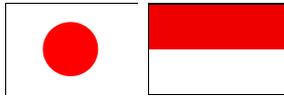


1. 被災した作業に戻ることへの不安と抵抗
2. 被災した際のショックによるトラウマ
3. 自分の不注意に対する自己嫌悪
4. 職場の同僚にかけた迷惑に対する罪悪感
5. 家族を不安に陥らせた後悔の念
6. 会社内での人事評価に対する懸念





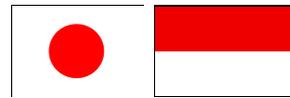
# 6. 被災後の経済的損失



1. 労災保険での補償金額を超えた分の自己負担
  - 搬送費
    - 陸上Rp.1,000,000
    - 海上Rp.1,500,000
    - 航空Rp.2,500,000
  - 治療費
    - 実費無制限
  - 休業補償給付割合
    - 0-6カ月 100%
    - 7-12カ月 75%
    - 12カ月- 50%
  - 死亡補償
    - 一時見舞金:  $60\% \times 80$ カ月分給与
    - 定期見舞金: Rp.200,000  $\times$  24カ月又は一括でRp.4,800,000
    - 葬式代: Rp.3,000,000
    - 遺児奨学金: Rp.12,000,000 1人のみ
  
2. 労働法第二部賃金第93条 病気の労働者に支払われる賃金の漸減
  - a. 最初の4ヶ月間、賃金の100%
  - b. 次の4ヶ月間、賃金の75%
  - c. 次の4ヶ月間、賃金の50%
  - d. これ以降は、経営者が雇用関係を終了させるまでの間、賃金の25%



# 7. 被災による職場での影響



## 1. 重大事故の場合

- ① 警察等による会社の安全管理責任の追及
- ② マスコミ報道による企業イメージの低下
- ③ 取引先からの安全管理監査、場合によっては取引停止
- ④ 労働組合の抗議活動による操業停止



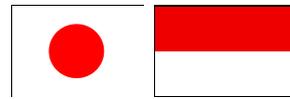
## 2. 操業度低下

- ① 被災作業員欠勤による生産遅れ
- ② 設備機械の安全面再点検による生産遅れ
- ③ 作業方法の見直しによる生産遅れ
- ④ 安全対策実施までの作業の一時停止





# 8. 加害者の場合の法的罰則



2022年11月刑法改正についての大統領令(2025年11月施行)

## 第2巻 犯罪行為

### 第XXIII章

#### 不注意による死亡あるいは傷害の原因となる犯罪行為

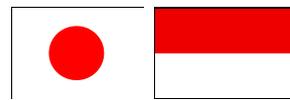


#### 第478条

1. 不注意により他人に障害を及ぼした者には最低1年の禁固刑、またはRp.10百万の罰金を科す。
2. 不注意により他人に重大な障害を及ぼした者には最低3年の禁固刑、またはRp.50百万の罰金を科す。
3. 不注意により他人を死亡させた者には最低5年の禁固刑、またはRp.500百万の罰金を科す。

#### 第479条

1. 第478条での違法行為が専門とする職業上で行われた場合は、更にそれぞれの刑罰の1/3相当を追加する。



## インドネシア進出サポート公式サイト

インドネシア進出準備から撤退までの要点を簡潔にまとめたサイトです  
(Googleトップランキング)

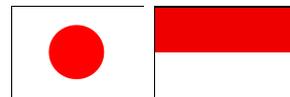
## インドネシア最新情報ブログ

あらゆる分野での情報を毎日、どんなメディアよりも早く紹介しています

## インドネシア進出サポートウェブセミナー

公式サイトに掲載されたセミナースライドサンプルの中から、ダウンロード件数の多いもの順に音声解説付きのスライドをアップロードしています

**愛する二つの祖国である、日本とインドネシアの発展のため、  
全てのコンテンツは無料で公開されています**



ご清聴ありがとうございました  
ここからは質疑応答です